

茨城県衛生研究所
令和4年度評価書

令和5年9月
茨城県衛生研究所
評価委員会

【様式6】

評価委員会評価書

□総合評価

評価:AA(3.6)	試験研究機関に期待される役割や目標等に照らし合わせ、質・量の両面において着実に取組みを実施していると判断できる。
<p>新型コロナウイルス感染症対応で業務多忙な中、中期運営計画に沿った、広報・情報発信や調査研究、人材育成、精度管理などの多岐にわたる業務に積極的に取り組んでおり総合的に高く評価される。</p> <p>新型コロナウイルスの変異株検査やゲノム解析、結核菌分子疫学解析の情報は、保健所の感染症対策を進めるうえでも、大変有用であった。新型コロナの扱いは変わったが、感染症の問題は収束しておらず「分子疫学解析」の有用性が増し、衛生研究所が県民の健康を守るために果たす役割、意味はますます大きくなると考えられる。そのような中で、調査研究の推進は、地方衛生研究所の健康危機対応能力を高めるうえでも非常に重要であり、オズウイルス発見等、新規研究の企画・立案が高く評価できる。また、関係機関や県民に対する感染症情報の提供などを積極的に行い、外部向け研修や若手育成を考えた学会派遣等も精力的に行われており評価できる。将来的に優れたプロジェクトを立案したり学術論文として成果発信する、新しいことに高いレベルで対応出来る人材を衛生研究所で育成しリーダーシップを発揮していただきたい。</p> <p>一方で、他県と比べて貧弱な人員体制を強化するとともに、若手の所員がバランスよく試験や研究の能力を高めるための方策や、研究所として所員の異動による技術継承への影響をどうするかという問題に配慮を続け、博士号取得を含めた継続的な人材育成体制を維持する必要がある。具体的には、所員による定期的な抄読会など、部横断的な意見交換の場を作り研究マインドの醸成に対する一層の努力と、本庁や保健所と連携した人材育成・実践型訓練の実施、国立感染症研究所や他の地方衛生研究所との連携強化に努めていただきたい。</p> <p>また、県民ニーズの把握について、積極的な取組みを検討すべきである。</p>	

□項目別評価

i) 県民に対して提供する業務

1) 調査研究	A
<p>年度計画通り、調査研究6課題に取り組む、目標を達成した。</p> <p>2課題については研究を完了し、いずれの研究課題も総合評価を良好と評価された。</p> <p>継続の4課題については実施計画通りの適切な研究の進捗であった。</p>	
2) 試験検査	評価: AA
<p>再開された計画検査に対応したほか、件数が急増している突発的な行政検査に対しても精度の高い検査を行い迅速に対応できた。特に新型コロナウイルス変異株のゲノム解析により、新たな変異株出現と県内の変異株における推移を監視できたことが大いに評価できるものであり、衛生研究所に求められる役割を十分果たした。</p>	
3) 研究成果等の活用促進	評価: A
<p>新型コロナウイルスの検査に対応しながらも、目標以上の学会発表や英文誌への原著論文投稿など、継続して対外的に発信することで、積極的に成果の普及促進成果の活用が出来ており評価できる。また、発表の機会を一部所員に集約せずいろいろな所員に与えていることは、研究力や技術力の継続性の面から評価できる。</p>	
4) 広報・情報発信・普及啓発	評価: AA
<p>感染症などに関する知識・技術の公開・啓発等を管轄地域に数多く行っており、質・量が優れていることが認められ高く評価できる。公衆衛生情報のホームページでの情報提供は目標を大幅に超過し、県民に情報提供・注意喚起できている。特に、ツツガムシ病、日本紅斑熱、季節性インフルエンザ流行情報の医療機関への提供に加え、感染症発生動向調査事業の結果を経時的なわかりやすい形でまとめ、感染症情報センターのホームページに掲載されており、感染症情報センターホームページを介し情報提供へのアクセス数が多いことから県民ニーズに応えていることが伺われる。</p> <p>一方で、出前講座・研修会等の実施回数は目標を達成できおらず、何らかの工夫が必要である。</p>	

5)外部人材育成、教育活動

評価： AA

保健所職員をはじめとする地域保健・地域医療関係者への研修会を開催し、内容を関係機関に伝達したことや、試験方法の研修、検体の送付方法、新任者研修、産業医・臨床医など、多様な対象に対する研修を積極的に実施し、人材育成、教育活動に努めたことは高く評価される。

ii)業務の質的向上、効率化のために実施する方策

1)全体マネジメント

評価： A

機器整備、品質保証体制整備(食品GLP等)の進捗状況を管理し、外部評価(本評価委員会を含む)を受けて改善する、というPDCAサイクルが適正に回っており、県の保健衛生、健康危機対応の科学的、技術的な中核機関として必要なマネジメントが実施されており評価できる。
今後は、ポストコロナを見据えた調査研究の企画立案が今後重要である。

2)他機関との連携、調査研究費の獲得

評価： AA

国立試験研究機関や大学と密接に連携し、研究を進めており、高く評価できる。また、外部研究費(特電等)も獲得しており評価できる。
県立研究機関と連携して業績発表会を開催していることは評価されるが、このことの効果を継続して把握し、人材育成や調査研究に有用であるか検証するような活動があると更に良い。

3)県民ニーズの把握

評価： A

関係機関と連携し県民と現場のニーズを把握、出前講座を通して県民の意見を聞くという方針に対し数値目標は達成できていないものの、各所との活動が認められるため評価できる。県民ニーズを把握する手段として、関係機関等との意見交換や出前講座・研修会の回数を増やすほか、別ルートでニーズの把握や別な手法を検討する必要がある(例:要請に応じてYoutube動画を提供するなど)。

4)内部人材育成

評価： AA

Webを活用した研修会等や技術研修などへの積極的な参加及びその後の伝達講習により、職場全体の資質向上に努め、研究員の能力向上を図っていることが評価できる。また、厚労省や研究班が行う外部精度管理事業に積極的に参加して、検査精度の向上に努めており評価できる。
今後は、さらなる若手研究員への技術継承と管理職の研究企画立案スキルの向上を期待したい。

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																																																																																								
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																																																																																							
i) 県民に対して提供する業務	1) 調査研究	A 年度計画通り、調査研究 6 課題に取り組み、目標を達成した。 2 課題については研究を完了し、いずれの研究課題も総合評価を良好と評価された。 継続の 4 課題については実施計画通りの適切な研究の進捗であった。	A	○質・量の両面において概ね令和4年度計画を達成																																																																																																																							
	2) 試験検査	A ○質・量の両面において概ね令和4年度計画を達成 試験検査の内容 ○ 計画検査 ・茨城県食品衛生監視指導計画 ・県内流通医薬品試験検査実施要領 ・家庭用品試買試験検査実施要領 ・病原性微生物等実態調査要領 等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>件数 (R4年度実績)</th> <th>衛生研究所 担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>食肉の試験検査</td><td>72</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>農産物漬物の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>輸入食品の試験検査</td><td>111</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>99</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査</td><td>81</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>認定小規模食鳥処理場微生物検査</td><td>133</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>県内産魚介類の寄生虫検査</td><td>依頼なし</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>水道水質調査事業に伴う試験検査</td><td>10</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>感染症流行予測調査事業に伴う試験検査</td><td>774</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>蚊の生息状況調査</td><td>6回</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>二枚貝中のノロウイルスの試験検査</td><td>2回</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>県内流通医薬品等の試験検査</td><td>41</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>後発医薬品の試験検査</td><td>10</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>医療機器の試験検査</td><td>1</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>無承認無許可医薬品の試験検査</td><td>44</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>家庭用品の試買試験検査</td><td>150</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>指定薬物等の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>食品の残留農薬試験検査</td><td>27</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>遺伝子組換え食品の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>加工食品の放射性物質試験検査</td><td>38</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>イパシ肉の放射性物質試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>水道水の放射性物質試験検査</td><td>57</td><td>理化学部</td></tr> </tbody> </table> ○ 行政依頼検査 ・茨城県感染症発生動向調査事業実施要項 ・茨城県結核予防計画 ・茨城県食中毒事故処理要領 等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>件数 (R4年度実績)</th> <th>衛生研究所 担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査</td><td>61</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>1,749</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査</td><td>141</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査</td><td>621</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>577</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症及び食中毒事例の分子疫学解析</td><td>179</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>4,688</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>結核対策予防事業に伴う試験検査</td><td>80</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>レジオネラ病防止に伴う試験検査</td><td>64</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>犬の狂犬病検査</td><td>5</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>化学物質に係る試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td></td><td>259</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>食中毒及び苦情食品に伴う試験検査</td><td>179</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td></td><td>15</td><td>理化学部</td></tr> </tbody> </table>	試験項目	件数 (R4年度実績)	衛生研究所 担当部	食肉の試験検査	72	細菌部	農産物漬物の試験検査	依頼なし	細菌部		依頼なし	理化学部	輸入食品の試験検査	111	細菌部		99	理化学部	夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	81	細菌部	認定小規模食鳥処理場微生物検査	133	細菌部	県内産魚介類の寄生虫検査	依頼なし	細菌部	水道水質調査事業に伴う試験検査	10	細菌部	感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	774	ウイルス部	蚊の生息状況調査	6回	ウイルス部	二枚貝中のノロウイルスの試験検査	2回	ウイルス部	県内流通医薬品等の試験検査	41	理化学部	後発医薬品の試験検査	10	理化学部	医療機器の試験検査	1	細菌部		1	理化学部	無承認無許可医薬品の試験検査	44	理化学部	家庭用品の試買試験検査	150	理化学部	指定薬物等の試験検査	依頼なし	理化学部	食品の残留農薬試験検査	27	理化学部	遺伝子組換え食品の試験検査	依頼なし	理化学部	加工食品の放射性物質試験検査	38	理化学部	イパシ肉の放射性物質試験検査	依頼なし	理化学部	水道水の放射性物質試験検査	57	理化学部	試験項目	件数 (R4年度実績)	衛生研究所 担当部	感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	61	細菌部		1,749	ウイルス部	感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	141	ウイルス部	感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	621	細菌部		577	ウイルス部	感染症及び食中毒事例の分子疫学解析	179	細菌部		4,688	ウイルス部	結核対策予防事業に伴う試験検査	80	細菌部	レジオネラ病防止に伴う試験検査	64	細菌部	犬の狂犬病検査	5	ウイルス部	化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部		259	細菌部	食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	179	ウイルス部		15	理化学部	AA
試験項目	件数 (R4年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																									
食肉の試験検査	72	細菌部																																																																																																																									
農産物漬物の試験検査	依頼なし	細菌部																																																																																																																									
	依頼なし	理化学部																																																																																																																									
輸入食品の試験検査	111	細菌部																																																																																																																									
	99	理化学部																																																																																																																									
夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	81	細菌部																																																																																																																									
認定小規模食鳥処理場微生物検査	133	細菌部																																																																																																																									
県内産魚介類の寄生虫検査	依頼なし	細菌部																																																																																																																									
水道水質調査事業に伴う試験検査	10	細菌部																																																																																																																									
感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	774	ウイルス部																																																																																																																									
蚊の生息状況調査	6回	ウイルス部																																																																																																																									
二枚貝中のノロウイルスの試験検査	2回	ウイルス部																																																																																																																									
県内流通医薬品等の試験検査	41	理化学部																																																																																																																									
後発医薬品の試験検査	10	理化学部																																																																																																																									
医療機器の試験検査	1	細菌部																																																																																																																									
	1	理化学部																																																																																																																									
無承認無許可医薬品の試験検査	44	理化学部																																																																																																																									
家庭用品の試買試験検査	150	理化学部																																																																																																																									
指定薬物等の試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																									
食品の残留農薬試験検査	27	理化学部																																																																																																																									
遺伝子組換え食品の試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																									
加工食品の放射性物質試験検査	38	理化学部																																																																																																																									
イパシ肉の放射性物質試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																									
水道水の放射性物質試験検査	57	理化学部																																																																																																																									
試験項目	件数 (R4年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																									
感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	61	細菌部																																																																																																																									
	1,749	ウイルス部																																																																																																																									
感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	141	ウイルス部																																																																																																																									
感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	621	細菌部																																																																																																																									
	577	ウイルス部																																																																																																																									
感染症及び食中毒事例の分子疫学解析	179	細菌部																																																																																																																									
	4,688	ウイルス部																																																																																																																									
結核対策予防事業に伴う試験検査	80	細菌部																																																																																																																									
レジオネラ病防止に伴う試験検査	64	細菌部																																																																																																																									
犬の狂犬病検査	5	ウイルス部																																																																																																																									
化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																									
	259	細菌部																																																																																																																									
食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	179	ウイルス部																																																																																																																									
	15	理化学部																																																																																																																									
3) 研究成果等の活用促進	A	○質・量の両面において概ね令和4年度計画を達成 ○当所研究員が共著者として学術誌に掲載された。また、機関誌等への投稿、学会等での発表及びホームページに掲載することにより、積極的に成果の活用・普及促進に努めた。 【実績】学会・研修会での発表：10回 <table border="1"> <thead> <tr> <th>発表題目</th> <th>学会・研修会等名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>茨城県におけるアストロウイルス検出状況について</td><td>関東甲信静支部ウイルス研究部会</td></tr> <tr><td>新型コロナウイルス流行期に高齢者施設で発生したRSV-Bの集団感染事例</td><td>関東甲信静支部ウイルス研究部会</td></tr> <tr><td>茨城県における結核菌の分子疫学解析</td><td>関東甲信静支部細菌研究部会</td></tr> <tr><td>SARS-CoV-2 分離培養における従来株と変異株の感染性についての検討</td><td>第71回日本感染症学会東日本地方学術集会</td></tr> <tr><td>マダニからのDNA抽出方法の検討</td><td>令和4年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会</td></tr> <tr><td>茨城県における結核菌の分子疫学解析</td><td>令和4年度結核予防技術者地区別講習会（関東甲信越ブロック）</td></tr> <tr><td>茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の検査状況について</td><td>第33回茨城県薬剤師会学術集会</td></tr> <tr><td>茨城県における新型コロナウイルスの流行株の推移について</td><td>令和4年度保健医療と福祉の事例発表会</td></tr> <tr><td>旅館やホテルの環境中に存在するウイルスの遺伝子検査について</td><td>令和4年度保健医療と福祉の事例発表会</td></tr> <tr><td>植物性自然毒の他成分一斉分析法の検討</td><td>令和4年度保健医療と福祉の事例発表会</td></tr> </tbody> </table>	発表題目	学会・研修会等名	茨城県におけるアストロウイルス検出状況について	関東甲信静支部ウイルス研究部会	新型コロナウイルス流行期に高齢者施設で発生したRSV-Bの集団感染事例	関東甲信静支部ウイルス研究部会	茨城県における結核菌の分子疫学解析	関東甲信静支部細菌研究部会	SARS-CoV-2 分離培養における従来株と変異株の感染性についての検討	第71回日本感染症学会東日本地方学術集会	マダニからのDNA抽出方法の検討	令和4年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会	茨城県における結核菌の分子疫学解析	令和4年度結核予防技術者地区別講習会（関東甲信越ブロック）	茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の検査状況について	第33回茨城県薬剤師会学術集会	茨城県における新型コロナウイルスの流行株の推移について	令和4年度保健医療と福祉の事例発表会	旅館やホテルの環境中に存在するウイルスの遺伝子検査について	令和4年度保健医療と福祉の事例発表会	植物性自然毒の他成分一斉分析法の検討	令和4年度保健医療と福祉の事例発表会	A	○質・量の両面において概ね令和4年度計画を達成																																																																																																	
発表題目	学会・研修会等名																																																																																																																										
茨城県におけるアストロウイルス検出状況について	関東甲信静支部ウイルス研究部会																																																																																																																										
新型コロナウイルス流行期に高齢者施設で発生したRSV-Bの集団感染事例	関東甲信静支部ウイルス研究部会																																																																																																																										
茨城県における結核菌の分子疫学解析	関東甲信静支部細菌研究部会																																																																																																																										
SARS-CoV-2 分離培養における従来株と変異株の感染性についての検討	第71回日本感染症学会東日本地方学術集会																																																																																																																										
マダニからのDNA抽出方法の検討	令和4年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会																																																																																																																										
茨城県における結核菌の分子疫学解析	令和4年度結核予防技術者地区別講習会（関東甲信越ブロック）																																																																																																																										
茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の検査状況について	第33回茨城県薬剤師会学術集会																																																																																																																										
茨城県における新型コロナウイルスの流行株の推移について	令和4年度保健医療と福祉の事例発表会																																																																																																																										
旅館やホテルの環境中に存在するウイルスの遺伝子検査について	令和4年度保健医療と福祉の事例発表会																																																																																																																										
植物性自然毒の他成分一斉分析法の検討	令和4年度保健医療と福祉の事例発表会																																																																																																																										

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																
		<p>【実績】学会誌等への投稿：4本</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">原著論文・機関誌等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> Distribution of Human Sapovirus Strain Genotypes over the last four Decades in Japan: a Global Perspective Yen Hai Doan, Yasutaka Yamashita, Hiroto Shinomiya, Takumi Motoya, Naomi Sakon, Rieko Suzuki, Hideaki Shimizu, Naoki Shigemoto, Seiya Harada, Shunsuke Yahiro, Kyoko Tomioka, Akie Sakagami, Yo Ueki, Rika Komagome, Kyohei Saka, Reiko Okamoto-Nakagawa, Komei Shirabe, Fuminori Mizukoshi, Yono Arita, Kei Haga, Kazuhiko Katayama, Hirokazu Kimura, Masamichi Muramatsu, Tomoichiro Oka Japan Journal of Infectious Diseases. 2023 Mar 31 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 院内提供食が原因と考えられた Salmonella Enteritidis 感染症症例の集団発生 病原微生物検出情報 (IASR) Vol.43, No.12 (No.514) 堀江育子 2022 年 12 月 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 茨城県における薬剤耐性菌の実態調査 令和 4 年度茨城県立試験研究機関成果集 伊師拓哉 2023 年 3 月 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 次世代シーケンサーを用いたウイルスの網羅的解析に関する調査研究 令和 4 年度茨城県立試験研究機関成果集 大澤修一 2023 年 3 月 </td> </tr> </tbody> </table> <p>○調査研究において習得した技術を、行政施策で活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの全ゲノム解析を行い、感染症対策に寄与した。 ・植物性自然毒による食中毒発生時に有毒成分の検査を行い、原因究明に寄与した。 	原著論文・機関誌等		Distribution of Human Sapovirus Strain Genotypes over the last four Decades in Japan: a Global Perspective Yen Hai Doan, Yasutaka Yamashita, Hiroto Shinomiya, Takumi Motoya , Naomi Sakon, Rieko Suzuki, Hideaki Shimizu, Naoki Shigemoto, Seiya Harada, Shunsuke Yahiro, Kyoko Tomioka, Akie Sakagami, Yo Ueki, Rika Komagome, Kyohei Saka, Reiko Okamoto-Nakagawa, Komei Shirabe, Fuminori Mizukoshi, Yono Arita, Kei Haga, Kazuhiko Katayama, Hirokazu Kimura, Masamichi Muramatsu, Tomoichiro Oka Japan Journal of Infectious Diseases. 2023 Mar 31		院内提供食が原因と考えられた Salmonella Enteritidis 感染症症例の集団発生 病原微生物検出情報 (IASR) Vol.43, No.12 (No.514) 堀江育子 2022 年 12 月		茨城県における薬剤耐性菌の実態調査 令和 4 年度茨城県立試験研究機関成果集 伊師拓哉 2023 年 3 月		次世代シーケンサーを用いたウイルスの網羅的解析に関する調査研究 令和 4 年度茨城県立試験研究機関成果集 大澤修一 2023 年 3 月																																									
原著論文・機関誌等																																																				
Distribution of Human Sapovirus Strain Genotypes over the last four Decades in Japan: a Global Perspective Yen Hai Doan, Yasutaka Yamashita, Hiroto Shinomiya, Takumi Motoya , Naomi Sakon, Rieko Suzuki, Hideaki Shimizu, Naoki Shigemoto, Seiya Harada, Shunsuke Yahiro, Kyoko Tomioka, Akie Sakagami, Yo Ueki, Rika Komagome, Kyohei Saka, Reiko Okamoto-Nakagawa, Komei Shirabe, Fuminori Mizukoshi, Yono Arita, Kei Haga, Kazuhiko Katayama, Hirokazu Kimura, Masamichi Muramatsu, Tomoichiro Oka Japan Journal of Infectious Diseases. 2023 Mar 31																																																				
院内提供食が原因と考えられた Salmonella Enteritidis 感染症症例の集団発生 病原微生物検出情報 (IASR) Vol.43, No.12 (No.514) 堀江育子 2022 年 12 月																																																				
茨城県における薬剤耐性菌の実態調査 令和 4 年度茨城県立試験研究機関成果集 伊師拓哉 2023 年 3 月																																																				
次世代シーケンサーを用いたウイルスの網羅的解析に関する調査研究 令和 4 年度茨城県立試験研究機関成果集 大澤修一 2023 年 3 月																																																				
4) 広報・情報発信・普及啓発	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 感染症情報センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生動向調査事業に基づき、感染症の情報を日々収集・解析し、週報及び月報としてホームページに掲載し、情報提供を行った。 ・県内のつつが虫病の届出増加と日本紅斑熱の発生確認により、医療機関に対して情報提供を行った。県民に対しては、ホームページの掲載、ポスター掲示により注意喚起を行った。 ・3 シーズンぶりに流行入りした季節性インフルエンザについて、保健所ごとの流行状況、入院情報、病原体検出状況等をまとめインフルエンザ流行情報として、流行期間中毎週ホームページに掲載し、情報提供を行った。また施設別発生状況についても毎週情報提供を行った。 ・当所及び水戸市保健所における新型コロナウイルス検査実施状況について、9月末まで毎週ホームページで県民等へ情報提供を行った。 ・感染症情報センターホームページの閲覧数は月約 3000～8000 件であり、県民ニーズに応じた情報提供を行うことが出来た。 ・茨城県感染症発生動向調査部会を開催し、県内の感染症発生動向の情報還元と課題について議論した。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ掲載公衆衛生情報：107回 (県民への注意喚起：7回、流行情報（月報・週報等）81回、新型コロナウイルス検査実施状況：20回) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>掲載タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>・マダニに注意しましょう</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>・レジオネラ症について</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>・梅毒が増加しています</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>・ダニ媒介感染症について</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>・アニサキスによる食中毒に注意しましょう</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>・11月は薬剤耐性対策推進月間</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>・日本脳炎に注意しましょう</td> </tr> </tbody> </table> <p>・茨城県感染症発生動向調査部会 2回(10月、2月)</p> <p>(2) 県民意識の醸成 (2)-1 県民等への情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉団体等を対象に出前講座や研修会を開催した。 ・健康プラザでパネルを展示し、県民に分かりやすく啓発した。 ・一般県民向けの当研究所業務紹介パンフレットを活用し、広報した。 <p>【実績】 出前講座・研修会：7回</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>出前講座・研修会名</th> <th>依頼者</th> <th>場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策について</td> <td>日立製作所工業協同組合</td> <td>Web</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>食中毒と予防方法について</td> <td>水戸市シルバー人材センター</td> <td>水戸市</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策について</td> <td>行方市社会福祉協議会</td> <td>行方市</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策について</td> <td>潮来市民生委員児童委員協議会</td> <td>潮来市</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>食中毒と予防方法について</td> <td>阿見町社会福祉協議会</td> <td>阿見町</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>食品衛生管理について</td> <td>茨城県社会福祉協議会</td> <td>水戸市</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策について</td> <td>茨城県社会福祉協議会</td> <td>水戸市</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	月	掲載タイトル	4月	・マダニに注意しましょう	7月	・レジオネラ症について	7月	・梅毒が増加しています	9月	・ダニ媒介感染症について	10月	・アニサキスによる食中毒に注意しましょう	11月	・11月は薬剤耐性対策推進月間	2月	・日本脳炎に注意しましょう	出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加者数	感染症の基礎と予防対策について	日立製作所工業協同組合	Web	30	食中毒と予防方法について	水戸市シルバー人材センター	水戸市	9	感染症の基礎と予防対策について	行方市社会福祉協議会	行方市	15	感染症の基礎と予防対策について	潮来市民生委員児童委員協議会	潮来市	80	食中毒と予防方法について	阿見町社会福祉協議会	阿見町	50	食品衛生管理について	茨城県社会福祉協議会	水戸市	150	感染症の基礎と予防対策について	茨城県社会福祉協議会	水戸市	150	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
月	掲載タイトル																																																			
4月	・マダニに注意しましょう																																																			
7月	・レジオネラ症について																																																			
7月	・梅毒が増加しています																																																			
9月	・ダニ媒介感染症について																																																			
10月	・アニサキスによる食中毒に注意しましょう																																																			
11月	・11月は薬剤耐性対策推進月間																																																			
2月	・日本脳炎に注意しましょう																																																			
出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加者数																																																	
感染症の基礎と予防対策について	日立製作所工業協同組合	Web	30																																																	
食中毒と予防方法について	水戸市シルバー人材センター	水戸市	9																																																	
感染症の基礎と予防対策について	行方市社会福祉協議会	行方市	15																																																	
感染症の基礎と予防対策について	潮来市民生委員児童委員協議会	潮来市	80																																																	
食中毒と予防方法について	阿見町社会福祉協議会	阿見町	50																																																	
食品衛生管理について	茨城県社会福祉協議会	水戸市	150																																																	
感染症の基礎と予防対策について	茨城県社会福祉協議会	水戸市	150																																																	

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																								
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																							
		<p>・パネル展示：8テーマ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイトル</th> <th>展示場所・イベント等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梅毒について</td> <td rowspan="8">健康プラザ</td> </tr> <tr> <td>レジオネラ症</td> </tr> <tr> <td>ダニ媒介感染症に注意</td> </tr> <tr> <td>アネキサス</td> </tr> <tr> <td>家庭用品について</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性菌について</td> </tr> <tr> <td>医薬品について</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎について</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)-2 薬剤耐性対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発動画制作(筑波大学学生作品等) ・ラジオ番組による啓発情報発信 ・県民向け啓発ポスター追加配付 ・県広報誌「ひばり」への情報掲載 ・SNSによる情報発信(県公式 Twitter など) ・NHK データ放送 ・パネル展示およびホームページによる情報発信 <p>【実績】普及啓発活動：7件/年</p>	タイトル	展示場所・イベント等	梅毒について	健康プラザ	レジオネラ症	ダニ媒介感染症に注意	アネキサス	家庭用品について	薬剤耐性菌について	医薬品について	日本脳炎について																														
タイトル	展示場所・イベント等																																										
梅毒について	健康プラザ																																										
レジオネラ症																																											
ダニ媒介感染症に注意																																											
アネキサス																																											
家庭用品について																																											
薬剤耐性菌について																																											
医薬品について																																											
日本脳炎について																																											
5) 外部人材育成、教育活動	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>○外部講師を招聘して「薬剤耐性(AMR)対策に係る研修会」等を開催するとともに研修内容を関係機関に伝達し、専門的知識及び最新の情報を提供した。</p> <p>【実績】保健所等への専門的研修会：12回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭用品試験(ホルムアルデヒド)研修</td> <td>水戸市保健所職員</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>毒物簡易検査キット研修</td> <td>水戸市保健所職員</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>食品添加物試験(二酸化硫黄)研修</td> <td>水戸市保健所職員</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医の公衆衛生実習</td> <td>筑波大学付属病院 臨床研修医 2年目</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>令和4年度 第1回感染症対策に関する保健所新任担当者等研修会(ゆうパックにより検体を送付するための梱包方法について)</td> <td>保健所及び衛生研究所の 新任感染症担当者</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>令和4年度新規採用検査業務等研修</td> <td>感染症対策課 予防・対策グループ 臨床検査技師</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>次世代シーケンサーを用いた SARS-CoV 2ゲノム解析実技研修</td> <td>江東微生物研究所検査担当者</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和4年度臨床研修医の公衆衛生実習</td> <td>筑波大学付属病院臨床研修医 2年 ウララ歯科クリニック臨床歯科研修医 1年目</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医公衆衛生実習</td> <td>筑波大学付属病院臨床研修医 2年 水戸共同病院臨床研修医 2年</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>産業医実習</td> <td>筑波大学付属病院臨床研修医 2年 株式会社製作所日立健康管理センター医務局 土浦保健所医師</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和4年度臨床研修医研修</td> <td>水戸済生会病院臨床研修医 2年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>令和4年度 第2回感染症対策に関する保健所新任担当者等研修会</td> <td>保健所及び衛生研究所の 新任感染症担当者</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	研修会・講座名	対象者等	参加者数	家庭用品試験(ホルムアルデヒド)研修	水戸市保健所職員	2	毒物簡易検査キット研修	水戸市保健所職員	2	食品添加物試験(二酸化硫黄)研修	水戸市保健所職員	1	臨床研修医の公衆衛生実習	筑波大学付属病院 臨床研修医 2年目	1	令和4年度 第1回感染症対策に関する保健所新任担当者等研修会(ゆうパックにより検体を送付するための梱包方法について)	保健所及び衛生研究所の 新任感染症担当者	32	令和4年度新規採用検査業務等研修	感染症対策課 予防・対策グループ 臨床検査技師	1	次世代シーケンサーを用いた SARS-CoV 2ゲノム解析実技研修	江東微生物研究所検査担当者	3	令和4年度臨床研修医の公衆衛生実習	筑波大学付属病院臨床研修医 2年 ウララ歯科クリニック臨床歯科研修医 1年目	3	臨床研修医公衆衛生実習	筑波大学付属病院臨床研修医 2年 水戸共同病院臨床研修医 2年	2	産業医実習	筑波大学付属病院臨床研修医 2年 株式会社製作所日立健康管理センター医務局 土浦保健所医師	3	令和4年度臨床研修医研修	水戸済生会病院臨床研修医 2年	1	令和4年度 第2回感染症対策に関する保健所新任担当者等研修会	保健所及び衛生研究所の 新任感染症担当者	35	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
研修会・講座名	対象者等	参加者数																																									
家庭用品試験(ホルムアルデヒド)研修	水戸市保健所職員	2																																									
毒物簡易検査キット研修	水戸市保健所職員	2																																									
食品添加物試験(二酸化硫黄)研修	水戸市保健所職員	1																																									
臨床研修医の公衆衛生実習	筑波大学付属病院 臨床研修医 2年目	1																																									
令和4年度 第1回感染症対策に関する保健所新任担当者等研修会(ゆうパックにより検体を送付するための梱包方法について)	保健所及び衛生研究所の 新任感染症担当者	32																																									
令和4年度新規採用検査業務等研修	感染症対策課 予防・対策グループ 臨床検査技師	1																																									
次世代シーケンサーを用いた SARS-CoV 2ゲノム解析実技研修	江東微生物研究所検査担当者	3																																									
令和4年度臨床研修医の公衆衛生実習	筑波大学付属病院臨床研修医 2年 ウララ歯科クリニック臨床歯科研修医 1年目	3																																									
臨床研修医公衆衛生実習	筑波大学付属病院臨床研修医 2年 水戸共同病院臨床研修医 2年	2																																									
産業医実習	筑波大学付属病院臨床研修医 2年 株式会社製作所日立健康管理センター医務局 土浦保健所医師	3																																									
令和4年度臨床研修医研修	水戸済生会病院臨床研修医 2年	1																																									
令和4年度 第2回感染症対策に関する保健所新任担当者等研修会	保健所及び衛生研究所の 新任感染症担当者	35																																									

【様式 7】整理表（項目別評価）

茨城県衛生研究所

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価			評価委員会評価																				
	評価	計画達成の状況		評価	評価における特記事項																			
		【実績】学生等への教育活動：5回 <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生の社会医学実習</td> <td>筑波大学医学群医学類 4年</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>医学生の社会医学実習</td> <td>筑波大学医学群医学類 4年</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>茨城県庁インターンシップ</td> <td>東京薬科大学、東邦大学、 国際医療福祉大学</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>医学生の社会医学実習</td> <td>自治医科大学医学部 6年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>獣医学科医学生の職場見学</td> <td>北里大学獣医学科 5年</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			研修会・講座名	対象者等	参加者数	医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	7	医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	6	茨城県庁インターンシップ	東京薬科大学、東邦大学、 国際医療福祉大学	6	医学生の社会医学実習	自治医科大学医学部 6年	1	獣医学科医学生の職場見学	北里大学獣医学科 5年	2		
研修会・講座名	対象者等	参加者数																						
医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	7																						
医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	6																						
茨城県庁インターンシップ	東京薬科大学、東邦大学、 国際医療福祉大学	6																						
医学生の社会医学実習	自治医科大学医学部 6年	1																						
獣医学科医学生の職場見学	北里大学獣医学科 5年	2																						

【様式 7】整理表（項目別評価）

茨城県衛生研究所

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価			評価委員会評価																																																								
	評価	計画達成の状況		評価	評価における特記事項																																																							
ii) 1) 全体マネジメント 業務の質的向上・効率化のため実施する方策	A	<p>○質・量の両面において概ね令和4年度計画を達成</p> <p>(1) 検査機器の整備等 ○更新計画の見直しを行うとともに、計画に基づき機器整備を実施した。 ・DNAシーケンサー、サーモキサー、送風定温恒温機、クリーンベンチ、サーマルサイクラー、恒温水槽、冷蔵ショーカー、ふ卵器、蒸留水製造装置、高速冷却遠心機、エバポレーター、電子天秤 等</p> <p>(2) 品質保証体制の整備 医薬品 PIC/S に係る体制の整備 ・試験検査 SOP(ロキソプロフェンナトリウム錠定量試験、プラバスタチンナトリウム錠溶出試験、リリカ OD 錠、プレガバリン OD 錠定量試験)を追加制定した。 食品 GMP に係る検査体制の整備 ・標準作業書（食品添加物（合成保存料））を改訂した。</p> <p>(3) 病原体等の安全管理の確保 ・病原体安産管理委員会を2回開催した。 ・内部査察を年1回実施し、結果を委員会で報告した。</p> <p>(4) 業務の進捗状況管理、情報共有及び評価委員会による評価 ア 業務の進捗状況管理、情報共有について ・月2回開催する所内部部長会議や、随時行う各部内ミーティングで情報共有し、業務等の進捗管理を行った。 ・月2回、4部合同の感染症ミーティングを行い、感染症及び食中毒に係る情報共有・意見交換を行った。 イ 評価委員会による評価について ・外部評価として、機関評価委員会を7/29（Web会議）に開催した。 ・機関評価委員会における評価指摘事項をもとに、業務の見直し改善を行った。 ・調査研究では、完了報告2題、中間報告1題、事前審査3題について評価を受け、研究成果の普及や調査研究事業計画の見直し等に反映させた。</p>		A	○質・量の両面において概ね令和4年度計画を達成																																																							
2) 他機関との連携、調査研究費の獲得	A	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>調査研究業務の活性化及び試験検査の突発的な対応等に備えた体制の構築・強化に努めた。</p> <p>○調査研究に係る研究機関等との連携 群馬パース大学大学院等との共同研究4題、研究協力8題を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究区分</th> <th>研究テーマ(研究代表者等)</th> <th>連携機関</th> <th>期間(年度)</th> <th>担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">共同研究</td> <td>野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する試験研究(衛生研究所 後藤慶子)</td> <td>群馬パース大学大学院保健科学研究科(木村博一)</td> <td>H30~R4</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(衛生研究所 伊藤拓哉)</td> <td>国立感染症研究所 県立中央病院 ほか全9医療機関</td> <td>R1~R8</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>茨城県内におけるリケッチャ保有マダニの浸潤状況の解明(衛生研究所 大澤修一)</td> <td>筑波大学附属病院感染症科(善安嘉彦)</td> <td>R2~R7</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">研究協力</td> <td>旅館及び公衆浴場における伝染性の疾病の範囲の設定のための研究(茨城県衛生研究所 堀江育子)</td> <td>国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター</td> <td>R3~R4</td> <td>企画情報部 ウイルス部 細菌部</td> </tr> <tr> <td>環境 AMR モニタリング調査(黒田誠);環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法の確立のための研究</td> <td>国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター</td> <td>H30~R6</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究(村上光一)木村班</td> <td>国立感染症研究所 感染症疫学センター</td> <td>R2~R4</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究(黒田誠)黒田班</td> <td>国立感染症研究所 感染症疫学センター</td> <td>R4~R6</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>国内流行ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(加藤大志)</td> <td>国立感染症研究所 ウイルス第三部</td> <td>R3~R5</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>腸管出血性大腸菌 O157 菌株を中心とした分子疫学解析と精度管理(横山敏子)</td> <td>東京都健康安全研究センター 微生物部</td> <td>R3~R5</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>CRE 感染症の臨床的疫学的解析(鈴木和里);薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究</td> <td>国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター</td> <td>R3~R5</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ監視点・応答システム(GISRS)と連携した国内 RS ウイルスサーベイランスシステムの構築と重症化メカニズムの病態解明(渡邊真治)</td> <td>国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター</td> <td>R4</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>食中毒調査の迅速化・高度化及び広域食中毒発生時の早期探知等に資する研究(平井晋一郎)</td> <td>国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター</td> <td>R4</td> <td>細菌部</td> </tr> </tbody> </table>		研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部	共同研究	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する試験研究(衛生研究所 後藤慶子)	群馬パース大学大学院保健科学研究科(木村博一)	H30~R4	ウイルス部	茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(衛生研究所 伊藤拓哉)	国立感染症研究所 県立中央病院 ほか全9医療機関	R1~R8	細菌部	茨城県内におけるリケッチャ保有マダニの浸潤状況の解明(衛生研究所 大澤修一)	筑波大学附属病院感染症科(善安嘉彦)	R2~R7	ウイルス部	研究協力	旅館及び公衆浴場における伝染性の疾病の範囲の設定のための研究(茨城県衛生研究所 堀江育子)	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター	R3~R4	企画情報部 ウイルス部 細菌部	環境 AMR モニタリング調査(黒田誠);環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法の確立のための研究	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター	H30~R6	細菌部	ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究(村上光一)木村班	国立感染症研究所 感染症疫学センター	R2~R4	ウイルス部	病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究(黒田誠)黒田班	国立感染症研究所 感染症疫学センター	R4~R6	ウイルス部	国内流行ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(加藤大志)	国立感染症研究所 ウイルス第三部	R3~R5	ウイルス部	腸管出血性大腸菌 O157 菌株を中心とした分子疫学解析と精度管理(横山敏子)	東京都健康安全研究センター 微生物部	R3~R5	細菌部	CRE 感染症の臨床的疫学的解析(鈴木和里);薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター	R3~R5	細菌部	インフルエンザ監視点・応答システム(GISRS)と連携した国内 RS ウイルスサーベイランスシステムの構築と重症化メカニズムの病態解明(渡邊真治)	国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター	R4	ウイルス部	食中毒調査の迅速化・高度化及び広域食中毒発生時の早期探知等に資する研究(平井晋一郎)	国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター	R4	細菌部	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部																																																								
共同研究	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する試験研究(衛生研究所 後藤慶子)	群馬パース大学大学院保健科学研究科(木村博一)	H30~R4	ウイルス部																																																								
	茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(衛生研究所 伊藤拓哉)	国立感染症研究所 県立中央病院 ほか全9医療機関	R1~R8	細菌部																																																								
	茨城県内におけるリケッチャ保有マダニの浸潤状況の解明(衛生研究所 大澤修一)	筑波大学附属病院感染症科(善安嘉彦)	R2~R7	ウイルス部																																																								
研究協力	旅館及び公衆浴場における伝染性の疾病の範囲の設定のための研究(茨城県衛生研究所 堀江育子)	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター	R3~R4	企画情報部 ウイルス部 細菌部																																																								
	環境 AMR モニタリング調査(黒田誠);環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法の確立のための研究	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター	H30~R6	細菌部																																																								
	ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究(村上光一)木村班	国立感染症研究所 感染症疫学センター	R2~R4	ウイルス部																																																								
	病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究(黒田誠)黒田班	国立感染症研究所 感染症疫学センター	R4~R6	ウイルス部																																																								
	国内流行ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(加藤大志)	国立感染症研究所 ウイルス第三部	R3~R5	ウイルス部																																																								
	腸管出血性大腸菌 O157 菌株を中心とした分子疫学解析と精度管理(横山敏子)	東京都健康安全研究センター 微生物部	R3~R5	細菌部																																																								
	CRE 感染症の臨床的疫学的解析(鈴木和里);薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター	R3~R5	細菌部																																																								
	インフルエンザ監視点・応答システム(GISRS)と連携した国内 RS ウイルスサーベイランスシステムの構築と重症化メカニズムの病態解明(渡邊真治)	国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター	R4	ウイルス部																																																								
食中毒調査の迅速化・高度化及び広域食中毒発生時の早期探知等に資する研究(平井晋一郎)	国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター	R4	細菌部																																																									

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
		<p>○地方衛生研究所間の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康危機発生時相互応援協定による窓口担当者の確認、専門家リストを作成した。 ・地方衛生研究所全国協議会ウイルス部会、細菌部会、理化学部会に参加した。 ・衛生理化学分野研修会に参加した。 ・各自治体からの照会、アンケート調査等に協力した。 <p>○県内の県立試験研究機関等との連携</p> <p>県立健康プラザ、中央保健所、精神保健福祉センター及び水戸市保健所と合同で業績発表会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康プラザ 1題 ・中央保健所 2題 ・精神保健福祉センター 1題 ・水戸市保健所 2題 ・衛生研究所 7題 <p>○外部資金(特別電源所在県科学技術振興事業補助金)を活用中の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究事業(継続) 3事業 ・調査研究事業(新規) 1事業 ・機器整備事業 1事業 <p>○外部資金以外の調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究事業(継続) 2事業 ・調査研究事業(新規) 2事業 		
3) 県民ニーズの把握	B	<p>○質(あるいは量)において取り組みが不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いばらき予防医学プラザ(県立健康プラザ、中央保健所、精神保健福祉センター及び衛生研究所)及び水戸市保健所による業績発表会を開催し、調査研究等事業内容の相互理解と県民ニーズの把握充実に努めた。 ・出前講座や研修会でアンケート調査を実施し、県民ニーズの把握に努めた。 ・茨城県薬剤耐性対策推進会議の委員と本県の AMR 対策活動について議論し、現場ニーズを把握した。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等との意見交換会の実施: 4回 ・茨城県薬剤耐性対策推進会議(2回: 6月、2月) ・茨城県公衆衛生行政連絡会議(1回: 11月) ・出前講座・研修会等: 7回(再掲) 	A	○質・量の両面において概ね令和4年度計画を達成
4) 内部人材育成	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 研修・交流機会の確保</p> <p>各技術研修会や学会等に、積極的に参加した。また、参加者は、研修内容について伝達講習を行い、職場全体の資質向上に努めた。</p> <p>(主な研修会)</p> <p>○ 技術研修</p> <p>薬剤耐性菌検査、寄生虫性食中毒に関する技術講習会、バイオセーフティ技術講習会、蚊類調査に係る技術研修、普通第一種圧力容器作業主任者研修、HPLC 講習会</p> <p>○ 学会</p> <p>日本感染症学会、日本感染症学会東日本地方会、日本食品衛生学会、日本環境感染学会、日本臨床微生物学会、日本細菌学会日本公衆衛生学会、国際結核セミナー、日本食品微生物学会、トラベラーズワクチンフォーラム研修会、茨城県薬剤師学術大会、等</p> <p>○ 地方衛生研究所全国協議会</p> <p>全国衛生化学技術協議会 等</p> <p>(2) 所内研修及び伝達講習</p> <p>外部専門家による研修会など、所内研修会を4回実施した他、所内各部署で内部研修を実施し、研鑽できる環境整備に努めた。</p> <p>若手研究員に対しては、確実に業務を遂行できるよう専属のトレーナーを配置し、計画検査や行政依頼検査に先立ち、年間を通じた実務研修(OJT)を実施した。また、研修会・学会等の参加者が伝達講習を行い、情報共有した。</p> <p>【所内研修会実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外部専門家を招聘した研修会 1回 ・「薬剤耐性(AMR)対策のこれから」 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野 教授 具 芳明 先生 ○ 安全管理教育訓練講習 1回 「危機管理担当者の心得」 (WEB 動画閲覧およびレポート提出) ○ 研究者倫理に関する研修会等 1回 ・新任・復帰研究職員対象所内研修 ○ 業績発表会 1回(演題数: 13) <p>(3) 精度管理事業の実施及び参加(結果はすべて適合)</p>	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
		<p>(主な外部精度管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業 インフルエンザウイルス6検体、コレラ菌3検体 ○ 厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業コロナウイルスの次世代シーケンシング(NGS)による遺伝子の解読解析 3検体、新型コロナウイルス核酸検出検査 6検体 ○ 厚生労働省が実施する医薬品試験の精度管理事業カルベジロール 1検体 ○ 地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部が実施する精度管理(有毒植物) 1検体 ○ (一財)食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査(E.coli、一般細菌数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、食品添加物) 11検体 ○ 厚生労働科学研究(新興再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究」腸管出血性大腸菌 4検体 ○ 2021年度厚労科研費「国内のサーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究」分担研究「抗酸菌型別分析における制度保証」結核菌 5検体 ○ 厚生労働科学研究(食品の安全確保推進研究事業)「食中毒調査の迅速化・高度化及び広域食中毒発生時の早期探知等に資する研究」腸管出血性大腸菌 4検体 <p>(内部精度管理) 試験検査前に、随時実施した。</p>		